

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』

平成22年度 秋の部 優秀賞発表

『啄木のふるさと』『もりおかの短歌』は、啄木が生まれ育った盛岡を訪れる観光客や市民による啄木短歌の特徴である『三行書き』の短歌づくりを通じて『短歌のまち もりおか』を推進することを目的に実施している事業です。

年間を四つの期間（夏の部・秋の部・冬の部・春の部）に分け募集。

9月から11月まで募集した秋の部にも、これまでと同様、観光客や市民の方々から多くの短歌が投稿され、この度優秀賞10首が選定されました。投稿箱は、当所や盛岡市役所、啄木関連の観光施設、市内ホテルなどに設置しており、現在は冬の部を募集しておりますので、啄木になった気分度三行書きの短歌に一度挑戦してみてくださいいかがですか。

秋の部 優秀賞十首

けらつつき
三十一文字を歌うがに
木魂してくる城垣の上

宮城県仙台市 阿部 堅市

啄木の故郷抱く岩手山

福島県浪江町 天野 史朗

柞紅葉の
今盛りなり

茨城県龍ヶ崎市 岡田 進

啄木の
浪民村をつつむがに
やさしく聳ゆる姫神山は

岩山に登れば見ゆる
盛岡の町で愛しき
青春の日よ

岩手県滝沢村 小田佐枝子

山車が練る
盛岡八幡秋まつり
音頭をあげし父や恋しき

岩手県滝沢村 小田佐枝子

高速路よりはじめて眺めし岩手山
雪をまとひて
大きく立ちをり

青森県青森市 木浪みつゑ

「車門」てふ
茶房の在りし彼の街は
かつら葉舞いし季にてあらむ

東京都新宿区 佐藤 慶子

風さやぐ
木立ぬければ岩山の
展望台は天空の蒼

岩手県盛岡市 鈴木 文子

中津川鮭の湖上を眺めれば
もりおかの街
秋の始まり

岩手県盛岡市 鈴木 充

鮭帰る清き流れの中津川
産卵終えて
命はかなし

岩手県盛岡市 花坂 俊子

平成二十二年十二月選 秋の部
投稿数 百五十九首

選者 八重嶋 勲氏